

資料 1

市町の取組について

SDGsパートナーが取り組む「SDGs」の取組！～2030年に活躍する主役たちへ～

令和3年度実施内容

小田原市のSDGsの理念に賛同いただいた企業・大学・法人等を「おだわらSDGsパートナー」として、共に考え、行動することによって、SDGsの目標達成・持続可能なまちづくりの実現を目指して活動をしています。



SDGsパートナーと共に出席講座開催
(相洋高校)



<SDGsパートナー一覧:R4.3.1現在 192者>



SDGs体感事業(おだちゃん)を
ビーチクリーンで活用！

令和4年度の予定

新たに「おだわらSDGs」パートナーを募集し、SDGsのゴールを達成するために、パートナーと一緒に取り組むとともに、SDGs体感事業「おだちゃん」のさらなる周知・拡大に取り組んでいきます。





令和3年度の主な取組

◇道の駅の整備を通じたにぎわいの創出

「道の駅 足柄・金太郎のふる里」周辺の遊休農地を活用し、とうもろこしやひまわり、チューリップなど年間を通した花と野菜の収穫体験など着地型観光を実施し、にぎわいを創出した。

【収穫体験(チューリップ)の様子】



◇人生100歳時代に向けた健康推進事業

「市民の学び合いの場づくり事業」においては、高齢者が積極的に社会参加し、健康で活躍できる新たな社会システムの構築を目指す「ジェロントロジー(高齢化社会工学)」に着目

- ・寺島実郎氏による市民講座「なぜ「知の再武装」が必要なのか」の開催
- ・「知の再武装」100歳時代のジェロントロジー総合講座の開催

【寺島氏による総合講座の様子】



令和4年度の主な取組

◇道の駅の整備を通じたにぎわいの創出

- ・はこね金太郎ラインを通じた観光客の誘客
- ・花と野菜の収穫体験を継続して企画
- ・道の駅を拠点とした観光を推進し、更なるにぎわいを創出する。

◇人生100歳時代に向けた健康推進事業

- ・「知の再武装」100歳時代のジェロントロジー総合講座の開催
- ・講座修了者に対し、新たな学びの機会として専門講座を開催し、更なるステップアップを図る

県西地域活性化プロジェクト

中井町

令和3年度の主な取組

①未病改善・健康増進プロジェクト

測定会・運動教室の開催／健康相談の実施

②スポーツプロジェクト

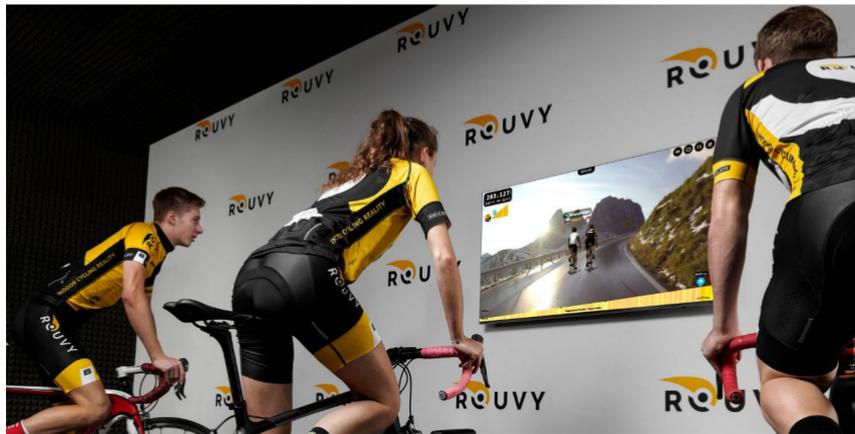
ノルディックウォーク・テニスイベントの開催

③ブランドプロジェクト

新規ブランド品の認証・開発の支援

④プロモーションプロジェクト

ファンミーティングの開催／CARマグネットの制作



令和4年度の主な取組

これまでの取組に加えて未病センター・
なかい健康づくりステーションにおいて
バーチャルサイクリング事業を開始

■ 令和3年度の取組

1. 農ある暮らしと新しいライフスタイル創出事業

● 夢おおいファーマー制度の運用開始

1,000㎡以下の農地を借り受け、半農半Xの暮らしを实践することが出来るとともに
荒廃農地対策につなげる

相談件数：8件 マッチング：3件

● 若手農業者交流会の開催

● 農ある暮らしのコンシェルジュによるプロモーション活動

町内農産物を使用したレシピの募集とレシピ動画の作成



夢おおいファーマー制度チラシ

2. 食と農業体験交流事業ブランド化促進事業

● 交流体験事業担い手拡大・地域育み事業

交流体験事業の担い手として町内外を対象に幅広く指導者の養成を行い、交流体験事業の拡大を図る

自然体験活動指導者講習会の開催 11名受講・修了

● 地域資源を生かした学び推進事業

町内の子ども対象の民泊体験の実施による地元愛の醸成

町外スポーツ団体等の民泊受入による受入態勢の強化

新型コロナウイルス感染拡大の影響による中止



■ 今後の取組

1. 農ある暮らしと新しいライフスタイル創出事業(継続)

・夢おおいファーマー制度の推進、Webによるファームツアーの実施
や農産物の販売体制の構築、農ある暮らしのプロモーション

2. 食と交流体験事業ブランド化促進事業 (継続)

指導者養成講習会の開催、町内外の子ども対象の民泊体験の実施



写真：自然体験活動指導者養成講習会

事業の概要

- ハーブガーデンの魅力向上と感染症対策のための拠点整備
 - ハーブ館1階（売店）
 - ・新型コロナ対策のため、抗菌対策を施す内装改修
 - ハーブ館3階（レストラン）
 - ・景観を活かすため、床の底上げのリノベーション
 - ・一面ガラス張りである特性を活かした改修（遮熱コーティング）
 - ハーブガーデン
 - ・体験プログラムの実施を可能とするための改修
- 駐車場感染症・誘導対策
 - ・人と人との接触を減らすため、シルバー人材センターが行ってきた西平畑公園駐車場の料金徴収を機械化

令和4年度の主な取組

- 移住検討者等に向けたシティプロモーションに資する動画及び記事配信
- グローバル人材育成支援事業（リアルホームステイ、オンラインホームステイ）



洒水の滝遊歩道整備事業

洒水の滝は「日本の滝百選」、「全国名水百選」に選ばれている名瀑で町を代表する観光資産のひとつ。

☞現在は、落石の恐れがあるため観瀑台付近を立ち入り禁止としており、閉鎖前に比べ観光客は減少している。

令和3年度の主な取り組み

県と協力し、周辺の景観を保ちながら観光客が安全に散策を楽しむことが出来るよう、次の整備を行った。

- ・観瀑台を備えた新たな遊歩道の整備
- ・落石等への安全対策
- ・駐車場の整備及び周辺の安全対策

新たな遊歩道及び周辺施設の整備が**令和4年3月末**に完成予定

令和4年度の取り組み予定

完成した遊歩道及び観瀑台を自然体験型観光、未病改善の資源としてPRし、観光客の増加と県西地域の活性化を図る。

- ・遊歩道整備に合わせた新たな観光パンフレットの作成
- ・ドローンによる空中動画を撮影し、町外イベントや町観光協会などで紹介

山北町

整備中の遊歩道



観瀑台と洒水の滝



県西地域活性化プロジェクトの これまでの主な取組

開成町

令和3年度の主な取組

□ ゼロカーボンシティ創成補助制度等の実施

- 二酸化炭素の排出実質ゼロを実現するため、「ゼロカーボンシティ創成補助制度」を創設
 - ・ ゼロエネルギーハウス等導入補助金
 - ・ 既存住宅スマートハウス化補助金
 - ・ 電気自動車等導入補助金
 - ・ 宅配ボックス普及促進補助金

□ シティプロモーションのためのプロカメラマンによる写真撮影

- 毎月の町広報紙やHPに活用
写真を使用した情報発信のクオリティの向上

- * 令和3年神奈川県広報コンクール *
広報写真（組み写真） 最優秀賞
広報紙（町村の部） 優秀賞

<かながわ地球環境賞受賞のZEB庁舎>



<受賞した広報写真（広報かいせい11月号）>



令和4年度の主な取組

- シティプロモーション動画制作
- 住民主体のフレイル予防の実施



県西地域活性化プロジェクトのこれまでの取組み

令和3年度までの取組み

森林セラピー基地の魅力向上 (H28～)

- ・癒しや運動などをテーマとした「森林セラピーツアー」や、森の中でのヨガ体験・森林セラピストとのウォーク体験に、飲食・物販を組み合わせたマルシェ形式の「はこじょマルシェ」を実施した。
- ・箱根の自然や歴史等の講義や箱根の森での模擬ガイド講習等を行い、セラピストの育成を図った。

未病改善プログラムの普及 (H28～)

- ・仙石原公園に健康遊具を設置し、効果的な健康維持及び増進ができるよう活用プログラムを構築するとともに、講師を招き活用講座を開催した。

芦之湯温泉の活用による地域活性化 (H28～R2)

- ・国民保養温泉地に指定されている芦之湯温泉にて、健康ウォーキングや温泉入浴指導員による温泉入浴方法の指導を取り入れた、健康増進温泉利用プログラムを実施した。

キャッシュレス収納 (R3～)

- ・コンビニ収納で使用しているバーコードを利用し、「モバイルレジ」、「モバイルクレジット」、「電子マネーによる収納」を導入することで、金融機関の窓口やコンビニでの納税をすることなく新しい生活様式を取り入れ、どこにいてもスマートフォンやパソコンから納税することができるよう令和3年10月からシステムを導入し、毎月、利用件数も順調に増えている。

水泳教室の実施・水中運動プログラムの開発 (H28～)

- ・水泳教室において水中ウォーキングやスロースイミングなどを実践し、未病改善の促進を図った。
- ・自らの体力や運動の目的に応じた水中運動ができるよう、水中運動プログラムを構築した。

箱根ジオパーク推進事業 (H28～)

日本地質百選に選定された「箱根火山」の周辺地域である2市3町を「箱根ジオパーク」として、教育やジオツアーの場として活用し、ジオツアーや各種講座等を通じて、郷土愛の醸成や地域コミュニティの活性化を図る。

令和4年度の主な取組

- ・森林セラピーツアーの開催・セラピスト育成・水泳教室の開催
- ・箱根ジオパークのジオツアーを現地開催とWeb開催で実施しコロナ禍でもジオツアーの開催に向けて工夫をしている。

箱 根 町



▲森林セラピーツアー



▲水泳教室



箱根ジオパーク公認マスコットキャラクター

住民協働による空家バンクの推進 & 未来につながる真鶴観光手帖

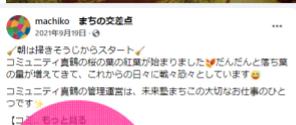


成約
第1号



【令和3年度】

- ・ 真鶴町空き家バンクの制定
- ・ 子育てママ・移住者で構成する住民団体に空家バンク業務を委託！
 - 住民による空家調査
 - 住民目線・住民の言葉で情報発信
 - 勉強会開催、自治会との交流
 - 新しい働き方・働き場を開拓！
- ・ 空き家バンク登録5件、1件成約

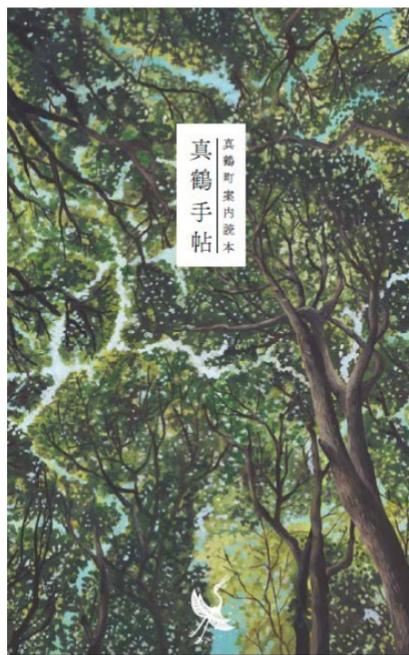


住民
発信



【令和4年度】

- ・ 住民協働のさらなる推進
- ・ 特定空家等、さらなる課題解決へ



【令和3年度】

- ・ 都会にはない地域独自の観光資源の価値を再認識し、既存の観光パンフレットには載っていないコアな情報を載せ、点と点を結び新たな視点からの周遊ルートを作り誘客を図るために、宣伝物を作成。
- ・ 観光グランドコンセプト「幸せをつくる真鶴時間」に沿った魅力を発信し、お客様に周遊していただき、滞在時間を延ばしていただくため、たくさんの情報を掲載。

【令和4年度】

真鶴手帖の活用

- ・ 町や観光協会のHP掲載、町内飲食店等への配架



幸せをつくる
真鶴時間
Find happiness in Manazuru

誰もが主役のプラットフォームマッチング事業

湯河原町

令和3年度の主な取組

- 移住促進・交流人口の増加につながる場の創出
交流拠点となる施設の調査・選定、駅周辺の活性化
- 町の未来を考える「湯河原わかもの会議」の設置
(20～30代)を中心に、湯河原町をフィールドとした町の未来をつくる会議を実施
- スタートアップマッチング支援
起業に向けた伴走型のスタートアップ講座の実施
- 移住PRチラシ等の作成と、SNSなどを活用した広報の検討
移住者を取材し、冊子及びWebサイトへの掲載



<スタートアップ講座>



<湯河原わかもの会議>

クラフト温泉 商品化～販売

○クラフト温泉とは

天然温泉を独自技術によりドリップし、温泉の成分濃度を増強する技術。職人の手で丁寧に磨き上げることから「クラフト温泉」と名付けた。

○クラフト温泉の商品化

令和3年度、湯河原温泉の新たな活用として、自宅でも温泉入浴を楽しめる「クラフト温泉」を開発・商品化し、本町の魅力である「湯河原の癒し」を全国に発信し、町の認知度の向上を狙う。

○商品の紹介

ご家庭の浴槽(約250ℓ)にクラフト温泉を25ml入れていただくだけで、ご自宅に居ながら、温泉が楽しめる。また、流通に適した小型ボトルにパッケージすることで移動や保存を容易にしている。

○商品の販売企画・プロモーション

令和4年度からは、コロナ禍において、自宅で行える「現代版の湯治」として展開させ、(一社)湯河原温泉観光協会において販売を開始する。そこで、TGC(東京ガールズコレクション)をプロデュースしている「(株)W TOKYO」と提携し、若年層女性をメインターゲットとした効果的かつ効率的なプロモーションを行っていく。

